

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【公開番号】特開 2015-192433 (P2015-192433A)

【公開日】平成 27 年 11 月 2 日 (2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-067

【出願番号】特願 2014-70564 (P2014-70564)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 14 日 (2016.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

利用者に所持されメッセージを音声出力する音声出力端末と、複数の前記音声出力端末に対してメッセージを送信する配信サーバとにより構成される音声メッセージ配信システムであって、

前記音声出力端末は、

前記配信サーバと通信する端末通信部と、

前記端末通信部により前記配信サーバからメッセージを受信すると、該メッセージを音声出力する音声出力部と、

を有し、

前記配信サーバは、

前記音声出力端末と通信するサーバ通信部と、

前記複数の音声出力端末の位置情報に基づいて送信予定のメッセージの送信先の音声出力端末と送信済みのメッセージを出力中の音声出力端末との間の端末間距離を算出し、該端末間距離に基づいて前記送信予定のメッセージの音声と前記出力中のメッセージの音声とが干渉するか否かを判定するメッセージ干渉判定部と、

前記メッセージ干渉判定部の判定結果に基づいて前記送信予定のメッセージの出力タイミングを制御するメッセージ制御部と、

を有し、

前記メッセージ干渉判定部は、前記端末間距離が小さいほど前記送信予定のメッセージの音声と前記出力中のメッセージの音声とが干渉し易いと判定することを特徴とする音声メッセージ配信システム。

【請求項 2】

前記音声出力端末は、建造物の内部において前記利用者に所持され、

前記配信サーバは、

前記建造物の構造に関する建造物情報を予め記憶している記憶部を更に有し、

前記メッセージ干渉判定部は、前記複数の音声出力端末の位置情報と前記建造物情報とに基づいて前記端末間距離を算出する、請求項 1 に記載の音声メッセージ配信システム。

## 【請求項 3】

前記音声出力端末は、  
前記音声出力端末の周囲の周辺音を取得する音声入力部と、  
前記音声入力部により取得した前記周辺音の音量を前記端末通信部により前記配信サーバに送信する周辺音通知部と、  
を更に有し、

前記メッセージ干渉判定部は、前記サーバ通信部にて受信した前記周辺音の音量が大きいほど、前記送信予定のメッセージの音声と前記出力中のメッセージの音声とが干渉し難いと判定する、請求項 1 又は請求項 2 に記載の音声メッセージ配信システム。

## 【請求項 4】

前記メッセージ制御部は、  
前記サーバ通信部にて受信した周辺音の音量が大きいほど、前記送信予定のメッセージの出力音量を大きい値に設定する、請求項 3 に記載の音声メッセージ配信システム。